

平成27年11月9日

まちづくりふれあいトークで出された
質問や要望の対応について

【十二町地区】

氷 見 市

平成26年度のふれあいトークで出された質問や要望の対応について

区分	地区No	年度	地区	項目	意見の内容	回答	対応策または不可能な理由等	対応可能性 と対応時期 (H27.6月見直し)	27年度担当部署
会場	1901	26	十二町	防災	防災行政無線のサイレンについて、毎日散歩しているが聞こえない。メール等を使って小学生に携帯を持たせるなど新しい方法を。北陸電力とも協力して考えてほしい。	新しい方法を考えていきます。阿尾地区では独居のお年寄りに防災ラジオ(1台約2万円)を配ってほしいという意見もありました。無線だけに頼らない方法を検討していきたいと思います。	メールの配信は、現在でも市ホームページから登録可能であり、防災情報の登録により気象警報等の受信が可能になります。 防災ラジオは1台2万円くらいかかります。27年度は試行実験として、阿尾地区の高齢者や公民館、介護施設などに設置し、利用状況や需要等を調査し、28年度に配布できるよう準備していきます。	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 年度内 <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> 参考意見 <input type="checkbox"/> 不可能	地域防災室 74-8021
会場	1902	26	十二町	文化	案内板ありがとうございました。駐車場について駒つなぎ桜の近くの畑の持ち主に提供いただける許可をいただいた。市の担当者のほうからも連絡等、対応していただけるのか。	担当の方からも話を聞いています。畑の農地転換の手続き、その後の維持管理等を今後協議して進めていきます。スピードを早めるために小まめに連絡をさせるようにします。	市が主体となり、農地を転用して駐車場の整備を行うことには難しいことが多くあります。多くの観光客が訪れる「駒つなぎ桜」の保存・活用に関する消耗品等の経費については、必要に応じ協議させていただきます。	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 年度内 <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 未定 <input checked="" type="checkbox"/> 参考意見 <input type="checkbox"/> 不可能	教育総務課 74-8211
会場	1903	26	十二町	公共交通	市内循環バス、市役所付近のバス停などもっと明確に分かりやすくできないか。	基本的に高岡-氷見間の路線の交通体系バスが多いです。谷ごとに、循環バスなど新しい路線バスも検討していく必要があります。市内のバス路線維持に、市で8千万円投じています。地元熱意でNPOバスを運行している地区もあります。まちのランドデザインを今後2-3年かけて考えていく中で、公共交通も考えていきます。 公共交通をどのように再編していくかということに、もっと思いをはせる必要があります。あらゆるかたちを考えながら、効率的な都市づくりを行っていくので、もう少しお時間をください。	氷見市全体の公共交通について、平成27年度から取り組んでいる立地適正化計画の中で、検討していきます。	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 対応済 <input checked="" type="checkbox"/> 年度内 <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> 参考意見 <input type="checkbox"/> 不可能	商工観光・マーケティング・おもてなしブランド課 商工立地・交通対策担当 74-8105
会場	1904	26	十二町	文化	水郷公園の潟の整備について、潟の半分以上にヒメガマが繁り、このままではオニバスが発生しない。オニバス池だけとするのか。多くの方が見に来られても、ヒメガマの下にオニバスが繁っている。残念がって帰られる方もおられる。生態系の調査も含め考えていただきたい。昔の研究があって指定されている。専門家をまきこんで研究してほしい。生態系の変化も考えてほしい。 浚渫を早めていただきたい。浚渫だけを考えるのではなく、観光部署などと一緒に盛り上げていただきたい。観光、イタセンパラのことなどを含めて総合的な戦略を立てるべき。	専門家や地元の方と相談しながら今後検討していきます。予算の範囲で浚渫などを、生態系の研究視点も入れた対策をしていきます。	平成27年度には、上、下十二町地区と協議しながら、新たにヒメガマを枯らす薬剤散布(ラウンドアップ)の対策を実験的に行い、目算ですが、約500㎡程度のガマを枯らすことができました。その後の経過観察を行いながら、新たにできた水面にオニバスを移植するなど、次のステップへ向けて取り組んでいきます。	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 年度内 <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> 参考意見 <input type="checkbox"/> 不可能	教育総務課 74-8211

区分	地区No	年度	地区	項目	意見の内容	回答	対応策または不可能な理由等	対応可能性 と対応時期 (H27.6月見直し)	27年度担当部署
会場	1905	26	十二町	教育	児童数が減少している十二町小学校に対する市の考えをお聞きしたい	小中学校の子ども数が152人減少しています。今年度から来年度にかけて現在のところ88人減少する見込みです。十二町小学校は昨年度から今年度は減少数はゼロ、次年度は4人減少の予定です。他の学校と比べ減少の割合が大きいわけではありません。小中学校の将来計画においては、小学校では複式学級を解消することが、中学校では各教科による専門教育や部活動など多様な集団活動を維持することが統合の判断です。十二町小学校については、現在統合の計画に入っていません。地元には不安があるということであれば、ぜひ協議の場をもちます。	十二町小学校は、平成21年に策定した氷見市小中学校将来計画では、統合を検討する対象校になっていません。平成27年4月1日現在、全校児童数は76名で、まだ複式学級になっていないことから、特に協議はしていない状況です。なお、児童数は平成30年度は59名、平成33年度は49名の見込となっています。今後も地元の皆様のいろいろなご意見をお聴きしてまいります。	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 年度内 <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> 参考意見 <input type="checkbox"/> 不可能	教育総務課 総務企画担当 74-8211
会場	1906	26	十二町	防災	十二町地区の災害に対する市の考えをお聞きしたい	ソフト面では自主防災訓練の実施や津波を想定した出前講座を実施するなど、自主防災活動への支援をしています。災害発生時に被害を最小限にするか、普段から自助・共助・公助の考え方が大切です。津波を想定した出前講座を実施させていただきました。		<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 年度内 <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> 参考意見 <input type="checkbox"/> 不可能	地域防災室 74-8021
会場	1907	26	十二町	イノシシ	いのししの増加の実態に対して、国・県・市ではどのような対策を講じているのか。たけのこをつくっているが、山奥のところは耕運機でおこしたようにいのししに掘り返されている。たけのこの生産にも影響がある。	最近特に増えています。雪が少なくなり、南の方からあがってきています。農産物の被害は昨年500万円程度ありました。いのしし等対策課を設置し、2500万の予算をつきました。県の補助で電気柵、市ではおりを設置しています。市内に92機のおりを設置しています。電気柵で寄せない、田んぼに入れない、えさをなくし檻に誘導、捕獲という流れです。これだけでは増え続けるいのししに対応できないので忌避植物での実験などをおこなっています。予算を2.5倍にして、被害額が3分の1に減少しました。昨年231頭が11月時点で288頭捕獲しています。	現在の取組み状況は、 ○電気柵などの侵入防止柵で農地に侵入させない防除 ○収穫残渣や放置、放任果樹等の適正処理によるエサの排除や出没しにくいような茂みの刈り払いなどの環境管理 ○イノシシのエサを無くしたうえで捕獲檻に誘導して捕獲する 今年度は10月31日現在で644頭と昨年同時期の256頭の2.5倍を捕獲しています。10月だけでは182頭と昨年の22頭の8倍を捕獲しており、侵入防止柵の普及の効果と考えています。	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 年度内 <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> 参考意見 <input type="checkbox"/> 不可能	いのしし等鳥獣害 対策室 30-7088
会場	1908	26	十二町	市民会館	市民会館の使用について、氷見市として市民会館に代わる施設について、建設計画等をお持ちなのか。	市民会館の利用率は28.2%です。文化の基本的な人権ですので、市民的論議をいただきたいと思えます。文化政策の議論をしっかりとしていきます。	有識者会議の提言を受け、新文化施設を整備することとしました。今後は立地、規模、機能、運営方法、事業プログラムなど基本計画を市民の皆さんと一緒に考えていきます。	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 年度内 <input checked="" type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> 参考意見 <input type="checkbox"/> 不可能	芸術文化マネジメント室 74-8215

区分	地区No	年度	地区	項目	意見の内容	回答	対応策または不可能な理由等	対応可能性 と対応時期 (H27.6月見直し)	27年度担当部署
会場	1909	26	十二町	地域包括	1人暮らしの方が多くなり、市は地域包括ケアシステムなど地域密着型のサービスを求められているが、どう対応していくのか	全国的に孤独死が増えています。地域での見守りが大切です。安心生活創造事業や社会福祉協議会などの取り組みを進めています。地域の力をお借りしないと進んでいかないので、地域の想いとして取り組んでください。財源を充当して地域の活動をサポートさせていただきます。	引き続き、地域包括支援センターや地区社協によるケアネット活動の見守り体制をすすめます。	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 年度内 <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> 参考意見 <input type="checkbox"/> 不可能	福祉介護課 介護保険担当 74-8066 地域包括支援センター 74-8067
会場	1910	26	十二町	市民会館	市民会館に著名な方を呼ぶなど高岡からも人を呼べるソフトをしっかりとすれば、集客できるのでは	検討していきます。ソフト事業の中身が重要で、造るにしろ、直すにしろ、ハードよりもソフトが大切です。	有識者会議の提言を受け、新文化施設を整備することとしました。今後は立地、規模、機能、運営方法、事業プログラムなど基本計画を市民の皆さんと一緒に考えていきます。	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 年度内 <input checked="" type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> 参考意見 <input type="checkbox"/> 不可能	芸術文化マネジメント室 74-8215
会場	1911	26	十二町	景観	看板など景観条例は良いと思うが、どうすすめていくか	来年度は、景観基本計画条例をつくり、それにより誘導していきます。施設をつくるときは、景観を整えて魅力的なまちにして観光につなげたいと考えています。そこに暮らす人、商いする人への特区、規制緩和を検討していきます。	氷見市の景観計画・条例をつくり、市民の景観に対する意識を高める取組みを進めていきます。	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 対応済 <input checked="" type="checkbox"/> 年度内 <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> 参考意見 <input type="checkbox"/> 不可能	都市計画まちのブランドデザイン課 都市景観・屋外広告物担当 74-8078
会場	1912	26	十二町	人口減	人口対策についてどう考えているか。人が増えないと話にならない	仕事や人の流れ、結婚、出産、子育てなどについて、抜本的かつ総合的な対策が必要と考えており、市民の希望をかなえ、持続可能な社会にするためのライフステージに応じた「氷見市15の観点」に沿って、長期の人口ビジョンを目標に対策を進めていきます。	仕事や人の流れ、結婚、出産、子育てなどについて、抜本的かつ総合的な対策が必要と考えており、市民の希望をかなえ、持続可能な社会にするためのライフステージに応じた「氷見市15の観点」に沿って、長期の人口ビジョンを目標に対策を進めていきます。	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 対応済 <input checked="" type="checkbox"/> 年度内 <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> 参考意見 <input type="checkbox"/> 不可能	地方創生と自治への未来対話推進課 地方創生・総合政策担当 74-8011
会場	1913	26	十二町	イノシシ	捕獲したイノシシを活用しているのか？高岡はいのししをコロッケにしている。野生動物はおいしく、カロリーが少ないので女性にも人気があると聞いた。	解体、処理場は福岡にあります。捕獲しても処理場に運ぶタイミングなどによって食べられるものは限られます。ほとんどは自分で処理しています。行政としてジビエを行うにはまだ捕獲数が少なく、情報収集をしている段階です。	食品衛生法等の関係上、県が示したガイドラインに沿った施設で処理した肉でないと流通できません。また、野生動物の持つ病気などや加工品のニーズなど調査研究すべき課題が膨大であります。加えて、市内で捕獲されている頭数では商品化は難しいものと考えています。	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 年度内 <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 未定 <input checked="" type="checkbox"/> 参考意見 <input type="checkbox"/> 不可能	いのしし等鳥獣害対策室 30-7088

区分	地区No	年度	地区	項目	意見の内容	回答	対応策または不可能な理由等	対応可能性 と対応時期 (H27.6月見直し)	27年度担当部署
自由	1914	26	十二町	防災	①防災無線サイレン、風などで聞こえなくなる。携帯無線→災害時に貸与	メールの配信は、現在でも市ホームページから登録可能であり、防災情報の登録により気象警報等の受信が可能になります。 防災ラジオは1台2万円くらいかかります。27年度は試行実験として、阿尾地区の高齢者や公民館、介護施設などに設置し、利用状況や需要等を調査し、28年度に配布できるよう準備していきます。【No.1906再掲】		<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 年度内 <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> 参考意見 <input type="checkbox"/> 不可能	地域防災室 74-8021
自由	1915	26	十二町	企業誘致	企業誘致	大都市圏での企業立地セミナーや氷見市ゆかりの企業への訪問などによる働きかけや、企業立地助成金などによる企業立地の促進に取り組んでいます。また、27年度は、「まち・ひと・しごと」について地方創生総合戦略を策定し、若者等市民が氷見で生きがいを持って働くことができる産業の創造と企業誘致に取り組んでいきます。	氷見市まち・ひと・しごと創生総合戦略では、基本目標の第一に安定した雇用を創出することを掲げており、氷見市の特色を活かし、時代の流れに対応しながら魅力的な雇用を増やすための施策を展開しています。	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 年度内 <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> 参考意見 <input type="checkbox"/> 不可能	商工観光・マーケティング・おもてなしブランド課 商工立地・交通対策担当 74-8105
自由	1916	26	十二町	企業誘致	自然等の景観も大事であるが、企業の誘致に努め、若い人が氷見市に戻り、勤めるところがある、いい市にしてください。会社や工場が立ち並ぶ景観も必要です。若い人が流出しない市にしてください。	27年度は、「まち・ひと・しごと」について地方創生総合戦略を策定し、若者等市民が氷見で生きがいを持って働くことができる産業の創造と企業誘致に取り組んでいきます。		<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 対応済 <input checked="" type="checkbox"/> 年度内 <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> 参考意見 <input type="checkbox"/> 不可能	商工観光・マーケティング・おもてなしブランド課 商工立地・交通対策担当 74-8105
自由	1917	26	十二町	庁舎	②市役所内に郵便ポストがない	郵便ポストは設置場所やデザインを現在検討しています。条件が整い次第設置します。	現在ポストの製作を依頼しており28年1月中旬に設置する予定です。	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 対応済 <input checked="" type="checkbox"/> 年度内 <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> 参考意見 <input type="checkbox"/> 不可能	財務課 財産管理担当 74-8035
自由	1918	26	十二町	庁舎	③市役所のバス停に待合イス	市庁舎からバス停までは、歩いて2、3分の距離です。市庁舎には、お休みいただけるベンチや給茶器もありますので、市庁舎でお待ちいただけますようお願いいたします。		<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 年度内 <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 未定 <input checked="" type="checkbox"/> 参考意見 <input type="checkbox"/> 不可能	財務課 財産管理担当 74-8035
自由	1919	26	十二町	環境	①沿道のゴミ	人目につきにくい道路等へのゴミのポイ捨てに対しては、広報や看板による啓発に加え、順次、移動式監視カメラの設置により、ポイ捨て防止を図っていきます。		<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 対応済 <input checked="" type="checkbox"/> 年度内 <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> 参考意見 <input type="checkbox"/> 不可能	環境・交通防犯課 環境保全・ごみ処理施設担当 74-8065

区分	地区No	年度	地区	項目	意見の内容	回答	対応策または不可能な理由等	対応可能性 と対応時期 (H27.6月見直し)	27年度担当部署
自由	1920	26	十二町	交通安全	免許証を返納したお年寄りが困っている	市内在住の70歳以上の方であれば、氷見市高齢者運転免許自主返納支援事業を活用していただくと、2万円分の乗合バスやタクシーの利用券を使うことができます。その後は公共交通機関等のご利用をお願いします。		<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 年度内 <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> 参考意見 <input type="checkbox"/> 不可能	環境・交通防犯課 交通・防犯担当 74-8068
質問	1921	26	十二町	建設	要望したことなどに対するその後の連絡を密にしてほしい	市民の皆さまや地区からのご意見やご要望について対応状況を見える化して、市のホームページで公開する市民の声・市民要望公開システムが27年10月より運用しています。		<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 年度内 <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> 参考意見 <input type="checkbox"/> 不可能	地方創生と自治への未来対話推進課 市民協働・ファシリテーション・地域おこし担当 74-8013
質問	1922	26	十二町	文化	文化を肌で感じるのは大事です。高岡市のような芸術祭を開ける施設は絶対必要だと思います。	有識者会議の提言を受け、新文化施設を整備することとしました。今後は立地、規模、機能、運営方法、事業プログラムなど基本計画を市民の皆さんと一緒に考えていきます。		<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 年度内 <input checked="" type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> 参考意見 <input type="checkbox"/> 不可能	芸術文化マネジメント室 74-8215
質問	1923	26	十二町	スポーツ	野球場の今後はどのようにしていくのか	氷見市のスポーツ環境については、利用状況やニーズ、競技人口について、氷見市の人口推計を勘案し、今後「氷見市スポーツ推進計画(仮称)」「施設の再配置計画を含む」を検討・策定していくこととしています。	平成27、28年度に「氷見市スポーツ推進計画(仮称)」「施設の再配置計画を含む」を検討・策定します。	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 年度内 <input checked="" type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> 参考意見 <input type="checkbox"/> 不可能	スポーツ文化マネジメント室 74-8446

平成25年度のふれあいトークで出された質問や要望の対応のうち継続して対応しているもの

会場	1208	25	十二町	土木	十二町瀉排水機場の改修促進について十二町瀉排水機場は、南条地区防災の要であり、現在、年間をとおして排水を実施している。地域の防災としての公共施設であり、改修費用については、市の格段の配慮をお願いしたい。	十二町瀉排水機場は、国営総合かんがい排水事業の基幹施設として整備されたものであり、水田はもとより近隣の住宅や商業施設等の浸水対策施設としての重要性を認識しているところです。施設完成以来、受配電設備については改修を行っていないため、県では、平成26年度から県営ストックマネジメント事業により更新を行う予定でしたが、さらなる地元負担の軽減をしてきたところ新たに平成27年度より県営防災減災事業で採択の見込みとなりました。これにより、地元負担はなくなる見込みです。	平成27年度、地元負担がない県営防災減災事業が採択され、本年度は測量設計を実施します。	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 年度内 <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> 参考意見 <input type="checkbox"/> 不可能	建設課 農林業基盤整備担当 30-7011
----	------	----	-----	----	---	---	---	---	-----------------------------

区分	地区No	年度	地区	項目	意見の内容	回答	対応策または不可能な理由等	対応可能性 と対応時期 (H27.6月見直し)	27年度担当部署
現地	2066	25	十二町	道路	水見惣領志雄線の島崎橋と万尾交差点の段差解消について 軟弱地盤のため道路が徐々に沈下し、見通しが悪いなど危険な状態となっている。また、交通量も多く市外の車もよく通行し、事故が多い。	県におきましても、見通しの悪さを解消すべく種々検討していると聞いています。市としましては、通行車両の安全確保のため段差解消など県に強く要望していきます。県では、定期的にパトロール、調査を行い必要に応じて補修、改修を行っていると考えています。	通行車両の安全確保のため段差解消などを、昨年県に強く要望したところ、27年10月に補修が実施されました。	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 年度内 <input checked="" type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> 参考意見 <input type="checkbox"/> 不可能	建設課 事業調整・用地担当 74-8091
現地	2067	25	十二町	道路	市道島崎坂津線の拡幅について 幅員が狭く危険である。 県道が通行止めになる場合は、この道路が路線バスの迂回路になる。	市全体の要望状況を踏まえ、危険性や重要性などを勘案し、検討しています。	道路整備地域支援事業を活用して整備されることをご検討ください。	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 年度内 <input checked="" type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> 参考意見 <input type="checkbox"/> 不可能	建設課 道の管理担当 74-8074
現地	2069	25	十二町	土木	中谷内川堤防の補修について 堤防に穴があいており、田の灌漑期に水位が上昇すると、排水路に逆流する。イタセンパラの生息地であり、補修工事は難しいのか。	イタセンパラの生息地ですが、必要な工事は可能です。柔軟な地盤でもあり、工法等について検討しています。	土羽打ちでの復旧がよいと考えます。工事については水路支援事業の活用をご検討ください。	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 年度内 <input checked="" type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> 参考意見 <input type="checkbox"/> 不可能	建設課 治水・治山担当 30-7071